事務事業評価シート1ー					1		■は、	プルダ	ウンメ	ニュー	から	選択			事	務事	業No).	01	_		6
事	業	分	類	☑ソフ	'ト □] <i>ハ</i> ー	-ド	□ 必	需	公	的	関	与	2	作	成 l	3 2	7 年	4	月	17	日
事	務	事業	名	行政評価	事務										シ	-	_	۲ .	作	成	部	署
総合	_	_ 4	- At-	6 語ら	いのある	るまち)								1		政策	課	係名		政策(—— 系
合計	基	本が	也束	6-4 行	財政運営	営の充	実し	たまち	らをつ	くる							作成:	ř				
画上				6-4-2	-4-2 効率的行財政の運営											会計			— f	般		
の	施		策											款		2						
位置				 ② 効果的、効率的な財政運営の推進									3	t	項 1							
付け	王	要加	医策												┥	-	目			6		
.,	<u> </u>																					
1	固別	計画	名																			
住	民	٤	の	関わ	り特に	こなし	,															
	対	象(記	進を、	、何を)					目的	9 (ど	うし	ハラキ	伏態	にし	たいの	か)						
事業	東	員町													定める							
の									をす		<u>ත</u> 7	<i>- &) (</i>	ルチ	段で	あるか	を計	他し	、週	俗な	门工具	义理 呂	2
対象																						
B			-	どのよう		-			-													
				目指す将 隆事業の	来像を写 中から言																	であ
的	し る。	。この	ひ事ネ					9.10	11手務	事業を	~ 1 / *						T 11111 (ᅜᆇᆫ	
内内	を行	行った	き上で	で、施策	評価に多		せる	。評価	[は年	度終〕	了後	に行			評価)	, I	事務事	[業]			策評値	牧善 西の
•	を行	行った	き上で		評価に多		せる	。評価	[は年	度終〕	了後	に行			評価)	, I	事務事	[業]			策評値	牧善 西の
内容	を行	行っ <i>†</i> で行う	た上 ⁻ う。1	で、施策 各課の評	評価に多 価終了後	後は庁	せる 内評	。評価 価委員	iは年 i会で	度終〕	了後 を行 ——	に行 い、		-ム^	を評価) ページ ^会	、 Fで	事務 事	[業]	E公表	表し	策評値 ます。 	改善 価の -
内容事	を 順 ・	行った で行う 業	た上 ⁻ う。1	で、施策 各課の評	評価に多価終了を 価終了を	後は庁 平成[せる 内評 	。評価 価委員 20 年	iは年 i会で <u></u> 度	度終了 検証を ~	了後 生行 ——平	に行 い、 成	ホー	-ム ^ヘ 年度	を評価) ページ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、 ^I Fでi	事務 評価 (間)	事業記 吉果 を 「✓	期	制設	策評値 ます。 定なし	改善 西の し
内容事	を 順 ・	行っ <i>†</i> で行う	た上 ⁻ う。1	で、施策 各課の評	評価に多 価終了後	後は庁 _{平成} [行政評	せる 内評 	。評価 価委員 20 年 2 施要網	iは年 i会で <u></u> 度	度終了 検証を ~	了後 生行 ——平	に行 い、 成	ホー	-ム ^ヘ 年度	を評価) ページ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、 ^I Fでi	事務 評価 (間)	事業記 吉果 を 「✓	期	制設	策評値 ます。 定なし	改善 西の し
内容事	を 順 ・	行った で行う 業	た上 ⁻ う。1	で、施策 各課の評	評価に発 価終了名 昭和 □ 町 員 価 要員:	後は庁 平成[行会設置	せる評 国	。評価 価委員 20 年 2 施要網	は年で会で、	度終了 検証を ~ 「員町 [?]	7 後年	に行い、成文評価	市実施	-ム ^ヘ 年度	を評価) ページ ((関第 4:	、 ^I Fでi	事務等 評価系 間) 2項	事業記 吉果 を 「✓	期に	表し 間設 よる	策評値ます。 定なし 庁内	改善 西の し し
- 内容 事 根	を 順 拠	行で行き、業法・令	き上う。 á 類 ・ :	で、施策 A課の評 明 間 要 綱等	評価に発 価終了名 昭和 □ 町 員 価 要員:	後は庁 平成[行会設置	せる評 国	。評価 価委員 20年 E施要組 (決算)	は年で会で、	度終了 検証を ~ 「員町 [?]	7 後年	に行い、成文評価	市実施	-ム^ 年度 施要	を評価) ページ ((関第 4:	等で記	事務等 評価系 間) 2項	事業語 書業語 表表 で (マ) (マ) (マ) (マ) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア	期に	表し 間設 よる	策評値ます。 定なし 庁内	牧善 の し 評
- 内容 事 根 全体	を順 拠 事 国	行で業まった	z 上 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	で、施策部 月 間 要 網等) A+B 出 金	評価に発 価終了名 昭和 □ 町 員 価 要員:	後は庁 平成[行会設置	せる評 国	。評価 価委員 20年 E施要組 (決算)	は年で 度 関、東 140 0	度終了 検証を ~ 「員町 [?]	7 後年	に行い、成文評価	市実施	-ム^ 年度 施要	を評価) (関第 4 1,140	・ 年 第	事務等 評価系 間) 2項	事業語 書業語 表表 で (マ) (マ) (マ) (マ) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア	期に	表し 間設 よる	策評値ます。 定ない 庁内	改画。 し 評 40 0
・内容 事 根 全 財	を 順 ・ 地 ・ 事 国 県	行で行き、業法・令	正上。	で A + B 金 出 出 出 出 コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ	評価に発 価終了名 昭和 □ 町 員 価 要員:	後は庁 平成[行会設置	せる評 国	。評価 価委員 20年 E施要組 (決算)	は年で 食 関、東 140 0	度終了 検証を ~ 「員町 [?]	7 後年	に行い、成文評価	市実施	-ム^ 年度 施要	を評価) (岡第 4 1,140 (年 第	事務等 評価系 間) 2項	事業語 書業語 表表 で (マ) (マ) (マ) (マ) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア	期に	表し 間設 よる	策評値ます。 定ない 庁内	数価。 し評 40 0 0
・内容 事 根 全 財源内	を順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	行で業余・	其 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 方 、 行 方 う 、 行 う う う う う う う う う う う う う う う う う	で、 施 で を ま の で と は の の は の の は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の の は る は る は る は る は る は る は る は る は る は る は る は る る は る は る は る は る は る は る は る は る は る は る る は る る る は る る る は る る る は る る る は る る る る る る る る る る る る る	評価に発 価終了名 昭和 □ 町 員 価 要員:	後は庁 平成[行会設置	せる評 国	。評価 価委員 20年 E施要組 (決算)	は年で 度 個、東 140 0 0	度終了 検証を ~ 「員町 [?]	7 後年	に行い、成文評価	市実施	-ム^ 年度 施要	に (関第 4 graphs) 1,140 graphs	年 第	事務等 評価系 間) 2項	事業語 書業語 表表 で (マ) (マ) (マ) (マ) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア	期に	表し 間設 よる	策評値ます。 定ない 庁内	牧善 し 評 40 0 0
・内容 事 根 全 財源	を順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	行で業余の他	上。 (千円支 方特	で A + B 金 金 債 源	評価に発 価終了名 昭和 □ 町 員 価 要員:	後は庁 平成[行会設置	せる評 国	。評価 価委員 20年 E施要組 (決算)	は年で 度 周、東 140 0 0	度終了 検証を ~ 「員町 [?]	7 後年	に行い、成文評価	市実施	-ム^ 年度 施要	を評価) (関第 4 1,140 ((で) 年 第	事務等 評価系 間) 2項	事業語 書業語 表表 で (マ) (マ) (マ) (マ) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア	期に	表し 間設 よる	策評値ます。 定ない 庁内	牧善の し 評 40 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・内容 事 根 全 財源内訳	を順・拠・事国県地そー	行で業会のの	こう。 1 大円 支 方特 た	で A + B 金金債源源	評価に発 価終了名 昭和 □ 町 員 価 要員:	後は庁 平成[行会設置	せる評 国	。評価 価委員 20年 E施要組 (決算)	は年で 度 個、東 140 0 0	度終了 検証を ~ 「員町 [?]	7 後年	に行い、成文評価	市実施	-ム^ 年度 施要	に (関第 4 graphs) 1,140 graphs	年第	事務等 評価系 間) 2項	事業語 書業語 表表 で (マ) (マ) (マ) (マ) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア	期に	表し 間設 よる	策評値ます。 定ない 庁内	牧善の し 評 40 0 0
・内容 事 根 全 財源内訳 直	を順・拠・事国県地そ一事	行で業会のの	注: 上: (千円支 方特) (千円支 (千円支 (千円支 (千円支 (千円支 (千円支 (千円支 (千円支	で A + B 金 金 債 源 源 A + B の ままままままままままままままままままままままままままままままままま	評価に発 価終了名 昭和 □ 町 員 価 要員:	後は庁 平成[行会設置	せる評 国	。評価委員 20 年, 程施要組 (決算)	は年で 度 間、東 140 0 0 0	度終了 検証を ~ 「員町 [?]	7 後年	に行い、成文評価	市実施	-ム^ 年度 施要	を評価) (岡第 4 / 「 (((((((((((((((((((で) 年 条 第	事務等 評価系 間) 2項	事業語 書業語 表表 で (マ) (マ) (マ) (マ) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア	期に	表し 間設 よる	策評(ます。) 定 庁 内 1,1	牧善の し 評 40 0 0 0 0
・内容 事 根 全 財源内訳 直	を順クルを順クを順クを順クを順クを順クを開かる。	行で業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上 こう。 1 其 ・	で A + B 金 金 債 源 源 A + B の ままままままままままままままままままままままままままままままままま	評価に発 価終了名 昭和 □ 町 員 価 要員:	後は庁 平成 [行会 改25年	せる評 国	。評価委員 20 年, 注施要紹 (決算) 1,	は年で 度 140 0 0 0 0	度検証を	了後行 平成 平成	に行い、成文評価	市実施	-ム^ 年度 施要	を評価) (関第 4 型 1,140 (C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	(で) 年 第	事務等 評価系 間) 2項	事業書 「」 の規 の規 の 成 27:	期に	表し 間設 よる	策評値 定なし 庁内 1,1	牧善の し 評 40 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
· 内容 事 根 全 財源内訳 直人	を順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを開かる。	行で業、大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	主上: (千円 支 方 特 (千円)	で A + B 金金 債源源 P B	評価に発信を できます できます できます できます できます できます できます できます	後は 平成 行会 成25年	せる評 国	。評価委員 20 年, 注施要紹 (決算) 1,	度 140 0 0 0 0 0 140	度検証を	了後行 平 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	に行い、成 (東部) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京	市実施	-ム^ 年度 施要	に (関第 4 が 1,140 ((((((((((((((((((((で) 年 第	事務平価 (目) (1) (目) (目) (目) (目) (目) (目) (目) (目) (目) (目	事業書 「」 の規 の規 の 成 27:	期に	表し 間設 よる	策評値 定なし 庁内 1,1	牧善の し 評 40 0 0 0 0 0 0
· 内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	を順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを開かる。	行で業、大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	主上: (千円 支 方 特 (千円)	で A B 金金債源源 A H P P P P P P P P P P P P P P P P P P	評価に対価 昭和 東価 東価 平 の. 17 0. 01	後は 平成 行会 或25年 人人	せる評 国	。評価委員 20 年, 注施要紹 (決算) 1,	度 140 0 0 0 0 140 122	度終記を	了後 平 イ で が で の 17 01	に行、 成 評価	市実施	-ム^ 年度 施要	を評価) (岡第 4 回第 4	(で) 年 第	事務編 間) 2項 平	事業書 □	#E 定 年度	表し 間設 よる (子	策評値 定なし 庁内 1,1	牧善の
· 内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	を順クル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	行で業、会費庫支他般費千員員	上 (千支 方特 (千) (八)	で A	評価 昭和 東価 東価 平J の. 17 0. 01 建果指標	後は 平成 行会 或25年 人人	せる評 国	。評価委員 20 年, 注施要紹 (決算) 1,	度 140 0 0 0 0 140 122	度検 ~ 頁 3 0.0	了を 行 平 成 17 01	に行、 成 評価 人 人	市 	-ム~ 年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で (関第 4 回第 4 回第 4 回第 4 回第 1,140 回第 1	デ 年 第 積	事務編 間) 2項 平	事 ま	を 安 対 に 度	表し 間設 よる (子	策計 定 庁 内 1,1 28年ほ (目標	牧善の し 評 40 0 0 0 0 0 0 140 122 18
・内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳 成	を順とのでは、「「「「「」」を順うでは、「「」では、「「」では、「」では、「「」では、「」では、「」では、「」では	行で業 会 庫 支 他 般費 千員員	上 (千支 方特 (千) (八)	で A B 金金債源源 A H P P P P P P P P P P P P P P P P P P	評価 昭和 東価 東価 平J の. 17 0. 01 建果指標	後は 平成 行会 或25年 人人	せる評 国	。評価委員 20 年, 注施要紹 (決算) 1,	度 140 0 0 0 0 140 122	度終記を	了を 行 平 成 17 01	に行、 成 評価 人 人	ホー 実が F度	-ム~ 年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を評価) (鋼第 4 型 1,140 (0 (0 (0 (1,140 1,122 18 度	デ 年 第 積	事務編 間) 2項 平	事業書 の規 人 人 27年	を 安 対 に 度	表し 間設 よる (子	策評(ます。 定なし 庁内 1,1 1,1	牧善の
・内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳 成	を順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを開かる。	行で業会を重支他般費千員員	上 (千支 方特 (千) (八)	で A	評価 昭和 東価 東価 平J の. 17 0. 01 建果指標	後は 平成 行会 或25年 人人	せる評 国	。評価委員 20 年, 注施要紹 (決算) 1,	度 140 0 0 0 0 140 122	度検 ~ 頁 3 0.0	了を 行 平 成 17 01	に行、 成 評価 人 人	市 	-ム~ 年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で (関第 4 回第 4 回第 4 回第 4 回第 1,140 回第 1	デ 年 第 積	事務編 間) 2項 平	事 ま	を 安 対 に 度	表し 間設 よる (子	策計 定 庁 内 1,1 28年ほ (目標	牧善の
・内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳	を順とのでは、「「「「「」」を順うでは、「「」では、「「」では、「」では、「「」では、「」では、「」では、「」では	行で業 会 庫 支 他 般 費 千 員 員	上、行支方特(円)人人	で各 月	評価 昭東価 田東価 日本	後は 平 (大会) 表 25 年 人 人 名	せ内	。評価委員 20年 (決算) 1,	度 度 140 0 0 0 0 140 122 18	度検 ~ 頁 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	了を行 平	にい 成 評価 人 人	ホー 実施 目標 1	- ムへ 年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	((((((((((((((デ 年 第 積	事務編編 間) 2項 平 0.17 0.01	事業 で	を 安 対 に 度 度	表 (音	策ます。 定庁 (1 , 1 2 8年 (1	牧善の し 評 40 0 0 0 0 0 122 18 変
・内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳 成果指	を順・拠・事国県地そ一事費・一臨・「②③」説	行で業 会 愛庫 支 他 般費 千員員 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四	上 (千支 方特 千) (人人)	で A	評価 昭東価 田東価 ロック	後 平 行会 え 大 人 人 名 結 に 成 記 ま の 記 ま の に に の に る に る に 。 に に に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に 。	せ内	。価 20 年 (決算) 1, 1, 1,	度 度 140 0 0 0 0 140 122 18	度検 ~ 頁 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	了を行 平	にい 成 評価 人 人	ホー 実施 目標 1	-ムへ 年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	((((((((((((((デ 年 第 積	事務編編 間) 2項 平 0.17 0.01	事業 で	を 安 対 に 度 度	表 (音	策ます。 定庁 (1 , 1 2 8年 (1	牧善の し 評 40 0 0 0 0 0 122 18 変
・内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳 成果指	を順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを順クを開かる。	行で業 会 愛庫 支 他 般費 千員員 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四	上 (千支 方特 千) (人人)	で各 月 要) 出 定財円 B ・・ 面 で 施の 間 等 日 金 金 債 源 源 年 下 一 の を 実 実 実 策 策 無 施 の た の た の た の た の た の た の た の た の た の	評価 昭東価 田東価 ロック	後 平 行会 え 大 人 人 名 結 に 成 記 ま の 記 ま の に に の に る に る に 。 に に に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に 。	せ内	。価 20 年 (決算) 1, 1, 1,	度 度 140 0 0 0 0 140 122 18	度検 ~ 頁 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	了を行 平	にい 成 評価 人 人	ホー 実施 目標 1	-ムへ 年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	((((((((((((((デ 年 第 積	事務編編 間) 2項 平 0.17 0.01	事業 で	を 安 対 に 度 度	表 (音	策ます。 定庁 (1 , 1 2 8年 (1	牧善の し 評 40 0 0 0 0 140 122 18 変 1)

事務事業評価シート1-2 事務事業No. 01 6 事業名 行政評価事務 シート作成課 政策課 政策課長 一次評価者 二次評価者 企画部長 一次の評価又は説明 チェック項目 一次 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 社会情勢の急速な変化に対応すること 必 や、総合計画に基づく各課の適正な実施 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 体制を維持するためには、評価及びそれ 国や県のサービスと重複している。 に伴う改革改善は必要不可欠です。 民間のサービスと競合している。 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない 1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 P·D·C·A サイクルが確立し、事務事 業が効果的・効率的に行われることで本 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 事務事業の有効性が発揮されますが、実 3 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 施方法等の改善が必要な部分もありま す。 П 4 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。 1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 П 各課が評価対象事務事業の一次・二次評価を 達 行い、職員の各事務事業に対する取組の方向 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 目 成 性について意識改革を行いました。更に評価 3. 概ね目標を達成していると思う。 **の** 結果を住民に公表し、行政としての説明責任 度 を果たしました。 説 4. 十分に目標を達成していると思う。 効果に比べてコストが高い(他市町や類似業務を行う民間に比べて)。 П П 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 可能な限り評価結果が早期に活用できる 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 ように努めるとともに、手段等の見直し を行い、現状よりも効率的な実施方法を 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 П 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 模索する必要があります。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 П 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。 П 本事務事業の実施適切性の説明 |評価過程において、事務事業の位置付けや役割を明確化できます。作成した評価シートをホームページ等で 住民に公表する事により、説明責任の確立の一助とします。事務事業の洗い出し・評価基準の設定・評価作 業の実施等を通じて職員の意識改革を図ります。庁内で本事務事業の実施体制は確立しているものの、各課 に行政評価本来の目的意識の浸透が十分とは言い難いため、手段や実施方法等に検討の余地があります。 必要性 有効性 達成度 効率性 総合評価 В 3 3 3 4 C D 見直し 拡大 今後の 休・廃止 継続 評 方針 0 評価結果が総合計画の推進や予算編成に的確に反映される仕組みづくりに努めます。平成27年度 今後の からは行政評価の実施体制をさらに明確なものとし、事務事業評価と施策評価の関連を視覚的に分 改革 • かりやすくするためシートの構成等の改善を試みます。 改善 目標 総合評価 有効性 必要性 達成度 効率性 В A 評 価 3 3 3 4 D C 評 休·廃止 見直し 継続 拡大 今後の 方針 行政評価は住民への説明責任を果たすとともに、評価作業の実施等を通じて職員の意識改革を図る コメ 事が重要です。外部評価の導入についても検討する必要があります。 こ次評価に 対する課の 考え方 参画協働の いつから 平成 年度から 現在の手段を継続する 今後の方針